



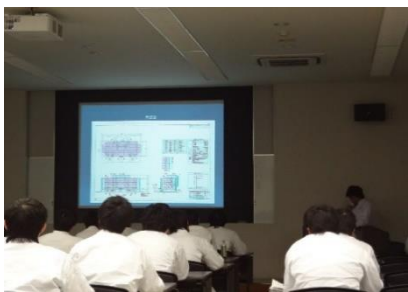
ジョブ・カードを使って
社員も会社も **もっと** 元気に！

雇用型訓練

平成31年度
-2019年度-

新規学卒者の溶接技能工の採用と育成（実践型人材養成システム）！

〈森松職業能力開発校〉



〈Tig溶接実技研修〉



【企業名】 森松工業株式会社
 【所在地】 岐阜県本巣市
 【設立】 1964年5月
 【資本金】 10,000万円
 【従業員】 665名（2019年3月現在）
 【業種】 製造業
 【事業概要】 「建築設備製品の製造販売」 「上水道製品の製造販売」
 「プラント設備製品の製造販売」

導入目的：
 実践型人材養成システムを活用し、新規学卒者の技能職(溶接工)を育成する仕組みを強化確立

取り組み内容：
 製造現場で必要な業務の習得に向け、OJTとOff-JTを効果的に実践教育として取り込む

導入成果：
 独自の人材育成の仕組みの構築と、優秀な溶接工の継続的な育成への道がひらけたと実感

Q.ジョブ・カードを導入しようと思ったきっかけは何ですか？

Q.ジョブ・カードをどのように活用しましたか？

Q.導入前後を比較して、あなた自身や社員・組織にどんな効果がありましたか？

当社の製品は完全受注生産方式であり、有資格の技能職（溶接工）がこれを担っています。空前の人手不足のなか旺盛な需要に対応するため、また国が推進する働き方改革に対応するためには、新規学卒者の早期の戦力化が喫緊の経営課題となっていました。
 教育訓練体系化の必要性を感じる中、ジョブカードに出会いました。県の認定訓練に追加して令和元年は、中部・北陸広域ジョブカードセンターから「実践型人材養成システム」に関する継続的な支援をいただきつつ、当社の実情に合わせた教育訓練制度と教育システムを構築しています。教育訓練制度を導入して、社内でも一定の定着をしていると判断していますが、今後も適宜カイゼンを行いながら継続していきたいと考えています。

実践型人材養成システム（特定分野認定実習併用職業訓練）を活用し、入社直後から岐阜本社にてOff-JT等の集合研修を実施、その後各工場に配属し各職場に応じたOJTを行っており、その期間は合計1年間に及びます。
 特徴的な取り組みとしては中部・北陸広域ジョブカードセンターに協力してもらい実施したキャリアコンサルティングが挙げられます。①入社直後の動機付け、②訓練終了間際の自己理解の二段階方式としており、新入社員の成長に役立っています。また、キャリアコンサルティングが最大限の効果を発揮するべく、教育カリキュラム作成支援もしてもらっています。
 OJTに関しては県知事より認定を受けた職業能力開発校のカリキュラムとしても実施しており、教育訓練の質を担保するよう留意しています。

当社の競業他社との差別化要因は「手で行う溶接」と「災害等で万一破損しても速やかに補修」の2点であり、これらの強みを下支えしているのが自社内で技能工を育成する仕組みです。その強みを、国の施策に後押しをされ、技能職（溶接工）の育成モデルの基礎が築けたことはとてもよかったと思います。
 長期継続的な教育研修を進める環境整備が進み、技能職（溶接工）の育成については、明確で標準的な教育カリキュラムを運用できるようになりました。研修は、大学卒・高校卒・特別支援学校卒を問わずほぼ同一の内容であるため、同期としての一体感を醸成するという副次的効果も見逃せないと感じています。